

若草団地の 新しい公営住宅を紹介します

若草団地は、市街地の団地の中で最も古く、壊れたところを何度も直しながら入居者の方々に利用していただいていたが、築45年を超え老朽化が進んだ建物もあり、維持することが難しくなってきました。

入居者からも、「屋根雪が落ちてドアが開かなくなった」「除雪場所がない」「床が落ちた」「雨漏りする」などの声が年々多く寄せられていることから、平成29年度から住宅整備を進めています。

この新しい公営住宅に入居できる方は、現在、若草団地に入居されている方です。



安心・安全な「いえ」づくり

① 冬季の除雪

玄関前が廊下なので、屋根雪の落雪でドアが開かない等の不便がありません。

また、除雪範囲が廊下の出入り口のみですみます。



道路に面した廊下の出入口

② 夏は涼しく冬は暖かい

高断熱（床、壁、天井、窓、玄関ドア）・高気密住宅（隙間が少ない）なので、暖房代が軽減されます。

③ バリアフリー

住戸内はもちろん、道路からの出入りも段差なく移動できます。

また、トイレやお風呂も使いやすい広さを確保し手摺を設けて、安心・安全な暮らしに配慮しています。



間取り（左から2LDK、1LDK）

入居者の声



除雪しなくても玄関が開くのは良かったです。段差もなくて安心して暮らしています。



前の公営住宅は隙間風が寒かったけど、ストーブは微少運転でも暖かいです。